



業界レポート

食肉業界

株式会社CCイノベーション

令和6年3月

目次 -CONTENTS-

01. レポートサマリー
02. 基礎知識
03. 業界の動向
04. 今後の焦点
05. CCIのソリューション

1. レポートサマリー

基礎知識

- 食肉業界とは、肉類の生産、加工、流通に関する業界のことをいう。

業界の動向

- 食肉の供給量は増加傾向にあり、特に豚肉、鶏肉の供給量は伸びている。
- 牛肉の輸出量・金額は直近5年間で倍増しており、政府一体となって更なる輸出拡大に取り組んでいる。
- 非対面での販売需要や人材不足の影響から、食肉の無人販売所や自動販売機が急激に増加している。

今後の焦点

- 中長期的には人口減少により、国内市場の拡大は見込めない。
- コロナ禍での外出機会の減少や健康志向の高まりなど、消費者のニーズは絶えず変化している。

⇒消費者のニーズを的確に捉え、継続した商品製造・販売を行っていくことが求められる。

食肉業界とは

- 食肉業界とは、肉類の生産、加工、流通に関する業界のことをいう。

主な食肉の種類

大分類	小分類
生鮮肉	牛肉
	豚肉
	鶏肉
	合いびき肉
	他の生鮮肉
加工肉	ハム
	ソーセージ
	ベーコン
	他の加工肉

※総務省統計局「家計調査」の項目

主要プレイヤー

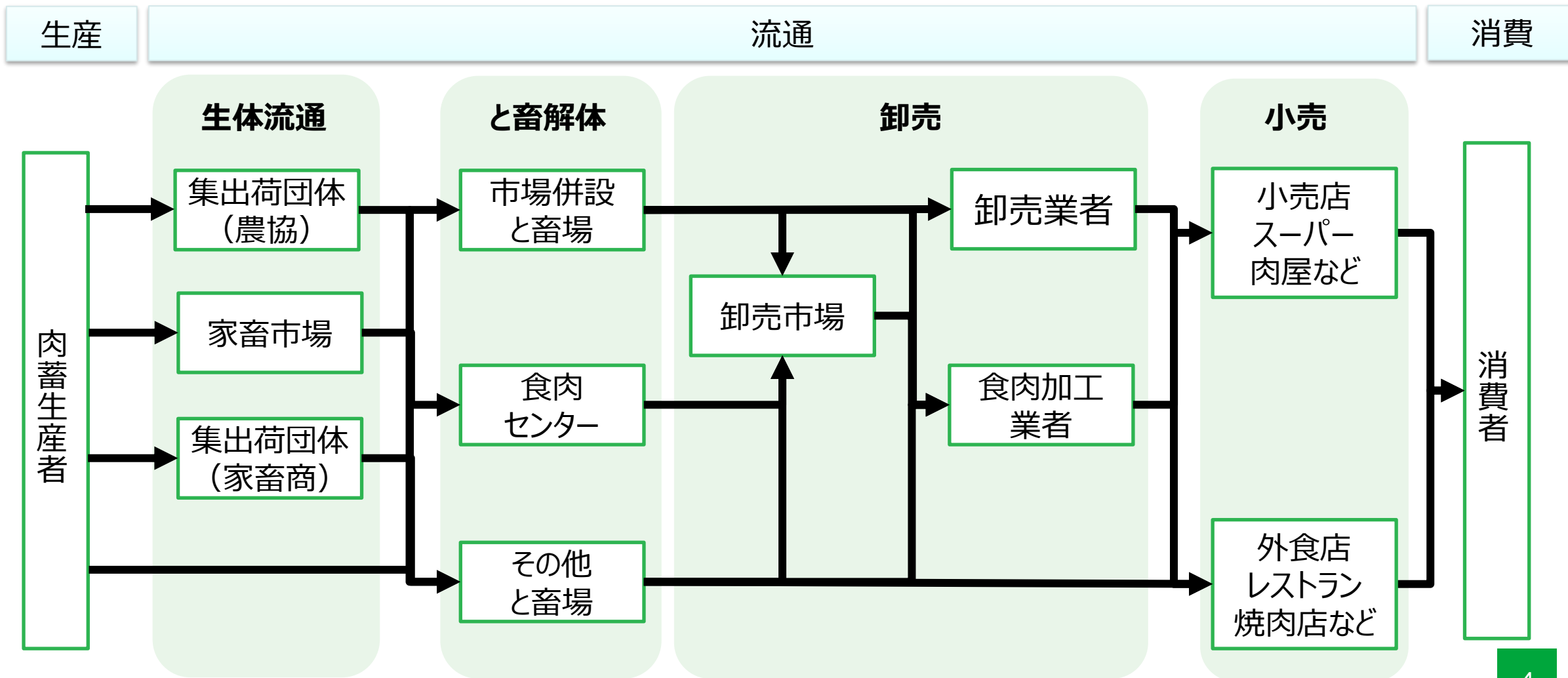
		企業名	売上高 (億円)
畜産	牛肉	みずほ農業	368
		ノベルズグループ	-
		カミチクグループ	-
	豚肉	グローバルピッグファーム	379
		日本クリーンファーム	241
		太平洋ブリーディング	151
	鶏肉	児湯食鳥	1,591
		全農チキンフーズ	1,205
		日本ホワイトファーム	632

		企業名	売上高 (億円)
加工品 製造	日本ハム	12,597	
	伊藤ハム米久HD	9,226	
	プリマハム	4,307	
	スターゼン	4,251	
	エスフーズ	3,992	
	丸大食品	2,219	

出所：各社ホームページ、IR資料
売上高はグループ会社合計

2. 基礎知識

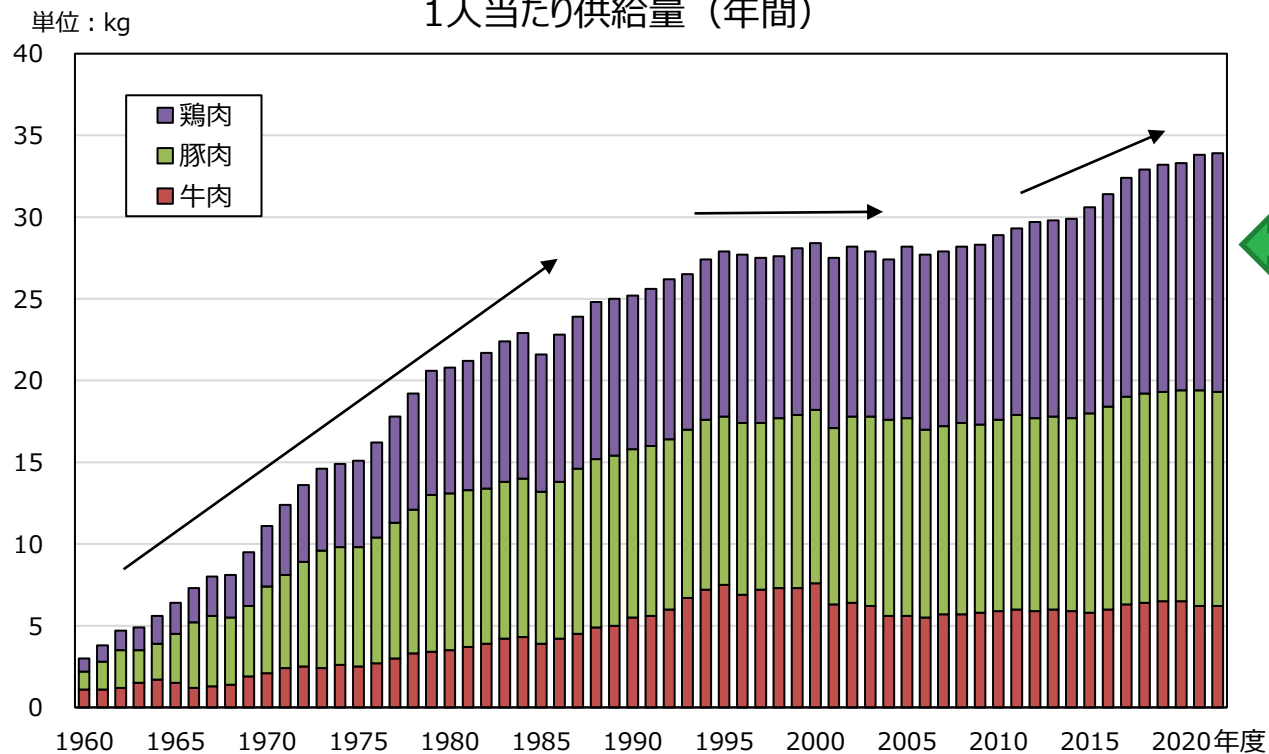
商流図



3. 業界の動向

供給量（消費量）

1人当たり供給量（年間）



一人当たり供給量（年間）表

	2000年度	増減	2022年度
牛肉	7.6	↓	6.2
豚肉	10.6	↑	13.1
鶏肉	10.2	↑	14.6
合計	28.0	↑	33.9

単位：kg

国内生産・輸入量（2022年度）

	国内生産量	輸入量
牛肉	497	804
豚肉	1,287	1,407
鶏肉	1,681	937

単位：千トン

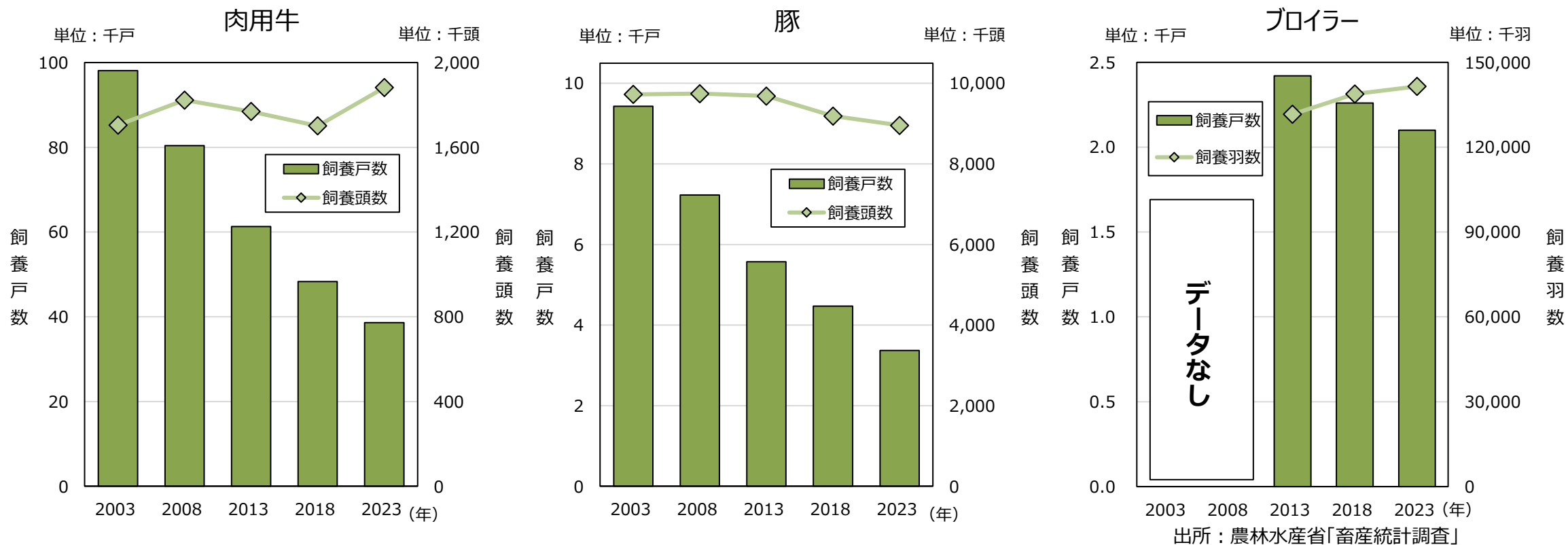
出所：農林水産省「食料需給表」

- 食肉（牛肉、豚肉、鶏肉の合計）の供給量は、増加傾向にある。
- 高タンパク食材として、鶏肉の需要が高まっている。
- 牛肉の供給量は、2000年を境に減少していたが、直近では横ばい傾向。

3. 業界の動向

飼養戸数、頭数・羽数

CC Innovation / est.2021

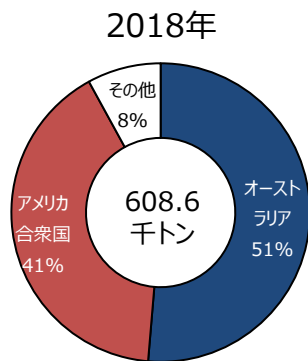


- 飼養戸数は、牛、豚、ブロイラー（鶏）共に減少傾向であり、1戸当たりの生産数は増加している。
- ブロイラーの飼養羽数は国内需要の高まりから増加傾向である。

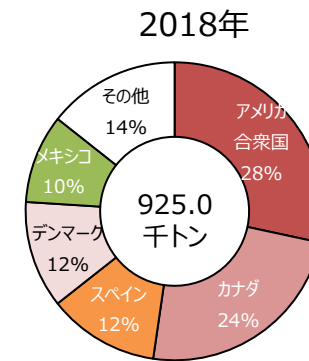
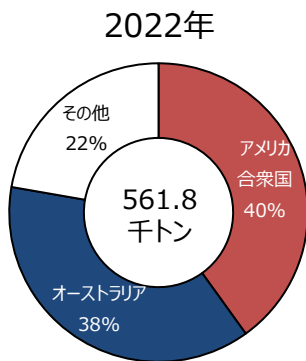
3. 業界の動向

輸入

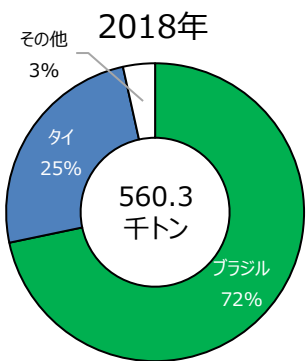
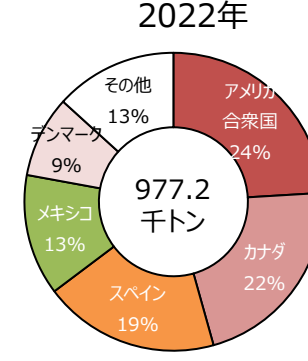
国・地域別輸入量・割合



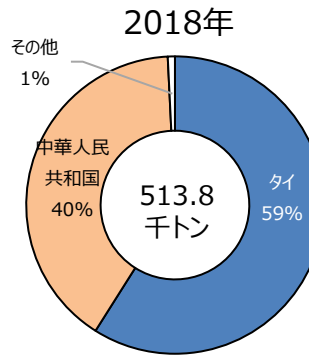
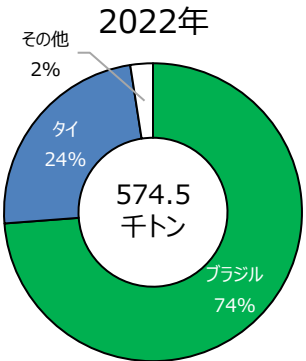
牛肉



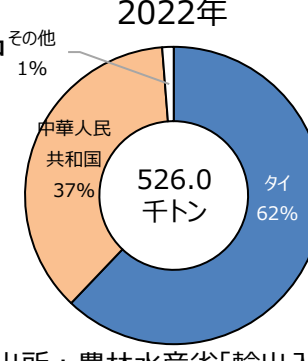
豚肉



鶏肉



鶏肉調製品



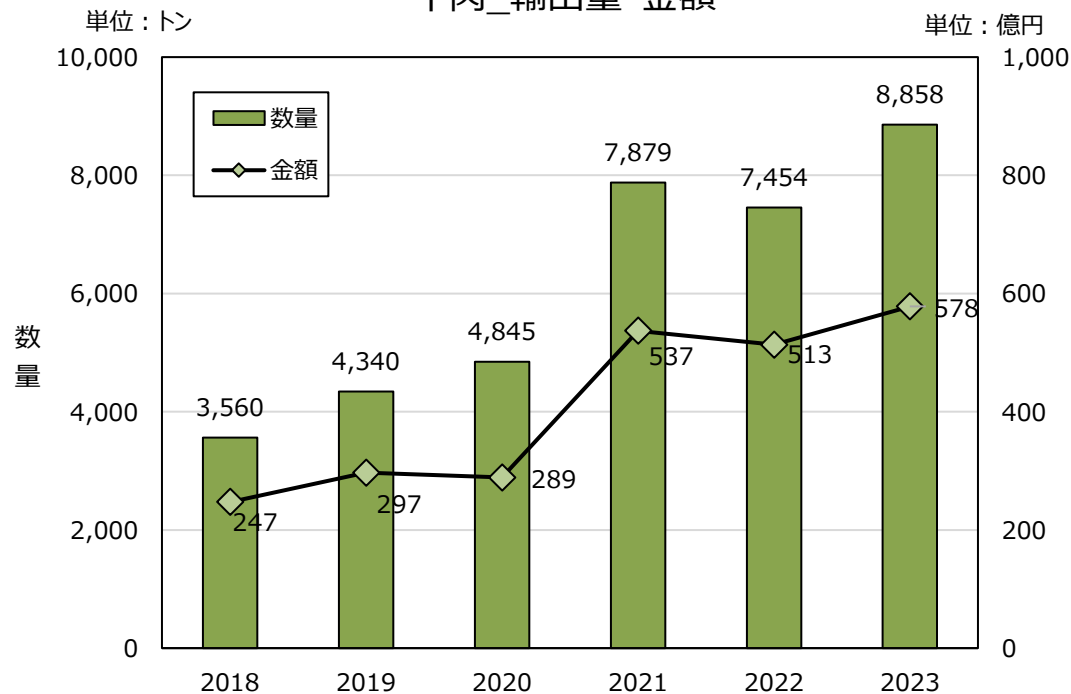
出所：農林水産省「輸出入概況」

- オーストラリアからの牛肉輸入量は、干ばつの影響もあり、他の国・地域へ移行している。
- スペイン・メキシコからの豚肉輸入量が増加しており、豚肉の輸入先が分散されている。
- 鶏肉、鶏肉調製品の輸入量は2か国で100%に近い割合を占めている。

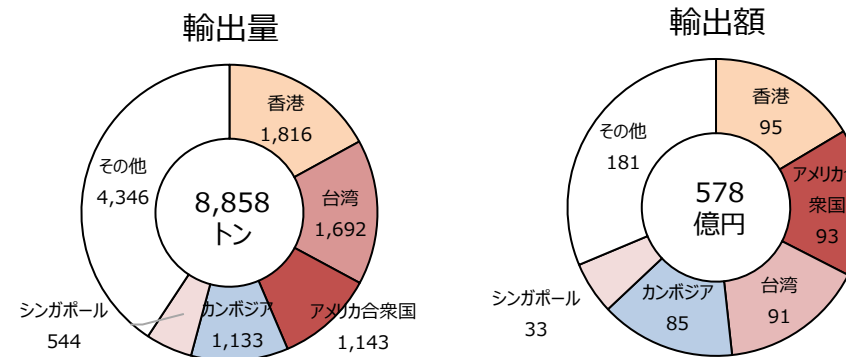
3. 業界の動向

輸出

牛肉_輸出量・金額



牛肉_国・地域別輸出量・金額 (2023年)



輸出実績、目標額

	2023年		2030年
牛肉	578億円	→	3,600億円
豚肉	27億円		60億円
鶏肉	26億円		100億円

出所：農林水産省「輸出入概況」

- 牛肉の輸出量・金額は直近5年間（2018年～2023年）で倍増している。
- 2020年、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」が策定され、政府一体となって更なる輸出拡大に取り組む。

3. 業界の動向

トレンド（無人販売所・自動販売機の増加）

食肉の無人販売所店舗数

店舗名	店舗数
無人ホルモン直売所	181店舗
おうちdeお肉	135店舗

出所：各社HPの店舗一覧ページに掲載されている店舗を弊社にて集計
(2024年2月20日時点)

自動販売機の普及台数（2022年末）

種類	商品例	普及台数	前年比
食品	インスタント麺、冷凍食品他	77,700台	106.7% ↑
(参考)	飲料	清涼飲料（缶・ボトル・紙）、ビール他	2,242,700台 99.5% ↓
	日用品雑貨	カード、衛生用品、玩具他	201,500台 99.3% ↓

出所：一般社団法人 日本自動販売システム機械工業会 「自販機データ（自販機普及台数）」

＜食肉関連の無人販売所出店のポイント＞

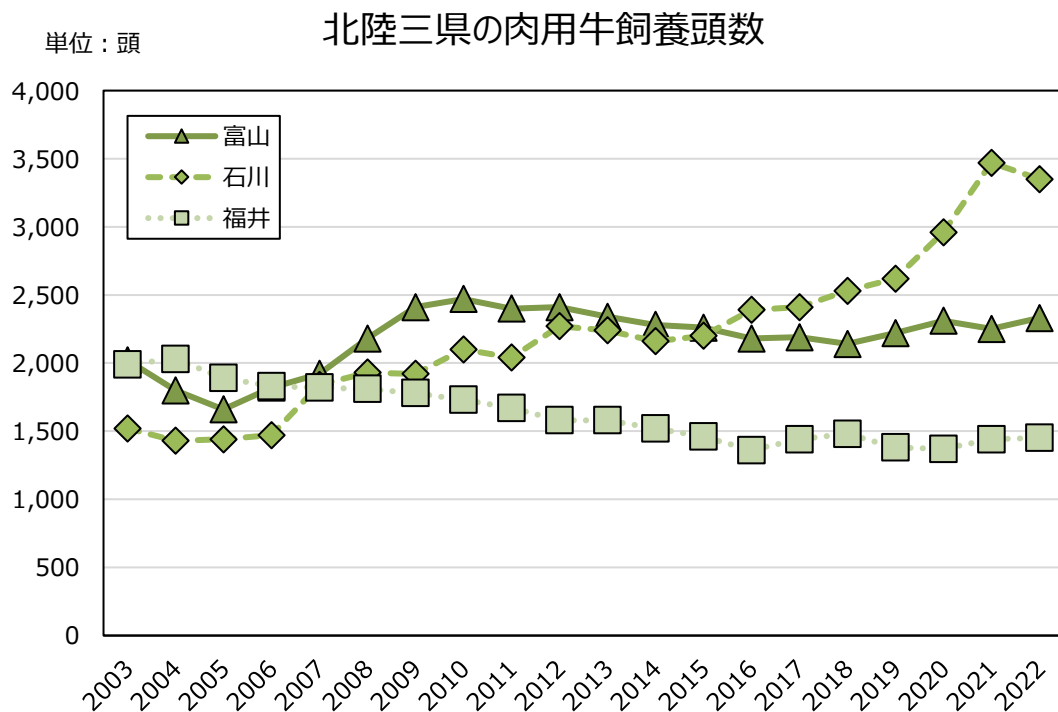
①価格帯	商品単価が低い→稼げない。 商品単価が高い→盗難された場合の損失が大きい。
②防犯対策	有人店舗に比べ、高性能な設備が必要となる。
③設備費用	冷蔵・冷凍設備が数台必要となり、初期コストが高くなる。

- 肉食需要の増加や人材不足の影響から、食肉の無人販売所が急激に増加している。
- 冷凍自動販売機の普及台数は大きく増加しており、今後も増加見通し。
→非対面チャネルでの販売が、今後も増加するものと予想される。

3. 業界の動向

北陸地域の動向

CCI Innovation / est.2021



出所：農林水産省「畜産統計」

北陸三県のブランド畜産物

県名	ブランド名	おもな産地
富山県	とやま牛	県内全域
	とやまポーク	
石川県	能登牛	県内全域
	能登豚	能登地方
福井県	若狭牛	県内全域
	ふくいポーク	嶺北地域
	福地鶏	

出所：北陸農政局HP「北陸地域のブランド畜産物（牛肉、豚肉、地鶏）」

- 石川県では、能登牛の生産量増加により飼養頭数が増加している。
- 各県ともに畜産ブランドを保有しており、県内での消費のほか、観光資源として活用している。

3. 業界の動向

北陸地域の動向

1人当たりの年間支出金額 単位：円

	全国	富山市	金沢市	福井市
肉類	33,339	29,403	31,004	29,424
生鮮肉	26,827	23,013	24,855	23,213
牛肉	7,256	5,919	6,737	7,388
豚肉	11,193	10,637	10,652	8,331
鶏肉	6,217	4,561	5,475	5,368
合いびき肉	969	1,066	1,211	1,036
他の生鮮肉	1,192	830	780	1,090
加工肉	6,512	6,390	6,149	6,212
ハム	1,705	1,424	1,700	1,436
ソーセージ	2,739	3,127	2,617	2,706
ベーコン	895	829	915	738
他の加工肉	1,173	1,010	918	1,331

(富山市)

- 牛肉の支出金額が少なく、豚肉の支出金額が多い。

(金沢市)

- 牛、豚、鶏肉の支出割合が全国平均と近似している。
- 合いびき肉の支出金額が多い。

(福井市)

- 牛肉の支出金額が多く、豚肉の支出金額が少ない。

→食肉文化の違いとして、西日本では牛肉、東日本では豚肉が主流であり、北陸はその中間地点とされる。

出所：農林水産省「家計調査 1世帯当たりの年間の品目別収支金額（総世帯）」
 ※表の値は1世帯当たりの消費金額を世帯人員で割り、1人当たりの金額に換算したものの。

4. 今後の焦点

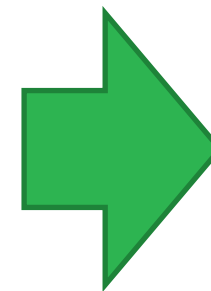
産地全体での輸出戦略

- 「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」が策定され、政府は輸出拡大を目指している。
 - 生産者や加工業者が、単独で海外販路を開拓していくことは難しい。
- ⇒生産者や加工業者、輸出業者にて生産から輸出まで一貫して輸出推進するコンソーシアムを作り、現地プロモーションや商談に取り組むことが必要である。

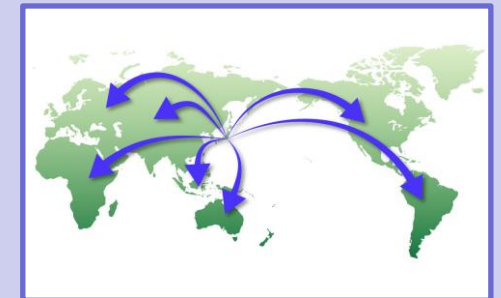
産地ごとのコンソーシアム



生産から輸出まで、産地一体で輸出に取り組む



世界各国



- ・現地プロモーション
- ・商談

4. 今後の焦点

ニーズ・トレンドへの対応

- 中長期目線で見ると、人口減少により、国内市場の拡大は見込めない。
 - コロナ禍での外出機会の減少や健康志向の高まりなど、消費者のニーズは絶えず変化している。
- ⇒ **消費者のニーズを的確に捉え、継続した商品製造・販売を行っていくことが求められる。**

消費者のニーズ

人と接触をせず購入したい

買い物や料理の負担を減らしたい

健康に気を付けた食事をしたい

“ハレの日”を少し豪華に過ごしたい

食肉業界のアクション

無人店舗・自動販売機での販売
ECでの販売強化

味付け済みの精肉商品の販売
長期保存可能な商品開発（冷凍など）

鶏肉需要の増加
低糖質・高タンパク商品製造・販売

高価格帯の商品開発
高価格帯商品の売場拡大

5. CCIのソリューション

コンサルティングメニュー

経営戦略 <ul style="list-style-type: none"> 経営理念・ビジョン策定 経営計画の策定 個別施策の立案 	コストマネジメント <ul style="list-style-type: none"> 原価管理体制の構築 物件費削減に関する助言 アウトソーシングの受託 	人材紹介 <ul style="list-style-type: none"> 最適な人材マッチング 独自のネットワーク 人材定着サポート
ビジネスマッチング <ul style="list-style-type: none"> 新たな販売・仕入先の紹介 新商品・新技術開発パートナー紹介 グループ会社コレゾの活用 	人事制度・人材育成 <ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度の策定 賃金制度の設計 階層別・専門別研修の実施 	
ICT <ul style="list-style-type: none"> システム導入・更改のサポート 独自アプリによる生産性向上 社内コミュニケーションの活性化 	業務効率化 <ul style="list-style-type: none"> BPR企画・立案 クラウド会計を活用した事務効率化 各種業務のマニュアル化 	
海外展開 <ul style="list-style-type: none"> 海外販路の開拓 海外拠点の設立に関する支援 貿易手続に関する助言 	M & A・事業承継 <ul style="list-style-type: none"> 企業の売却・買収のコーディネート 企業価値算定に関する助言 経営の承継に向けた社内体制整備 	



- CCIではお客さまの課題を明確にとらえ、お客さまに最適なソリューションを提供します。
- 北國フィナンシャルHD各社、各業務提携機関がお客さまの成長戦略をご支援します。

WEBサイト



[株式会社CCイノベーション
\(ccinnovation.co.jp\)](http://ccinnovation.co.jp)

当社のコンサルティングに
ついての詳細はこちら

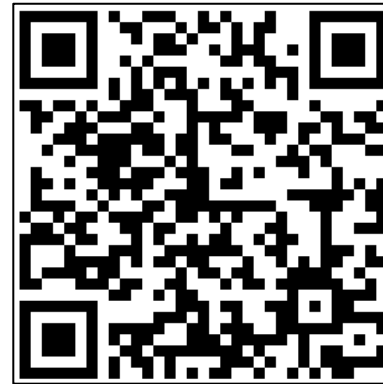
LinkedIn



[株式会社CCイノベーション
LinkedIn](#)

コンサルティング事例やセミナー情報を発信中
ぜひフォローよろしくお願いいたします！

Facebook



[株式会社CCイノベーション
Facebook](#)

お問い合わせフォーム



[株式会社CCイノベーション
お問い合わせフォーム](#)

専門コンサルタントが
ご相談を承ります。
お気軽にご連絡ください！

- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、CCイノベーションとのお取引を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている意見などはCCイノベーションが信頼に足り、且つ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、その正確性、確実性を保証するものではありません。なお、本資料は、作成日において入手可能な情報等に基づいて作成したものであり、金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が不正確なものになる可能性もあります。
- 本資料のご利用は、お客さま御自身の判断でなされるよう、また、必要な場合には顧問弁護士、税理士などの各種専門家にご相談いただきますようお願いいたします。
- 本資料の著作権はCCイノベーションに帰属し、本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じます。